

<呼びかけ文>「『松田のマヨネーズ』はマヨネーズだ！」



発売以来 18 年間、「究極のマヨネーズ」として広く愛されてきた『松田のマヨネーズ』が、昨年より「マヨネーズ」と名乗れなくなったことをご存知ですか？

『松田のマヨネーズ』は、素材を厳選し、化学的な材料や添加物を一切使っていない手づくりの製品です。その『松田のマヨネーズ』に対し、昨年 7 月、突然「原材料に蜂蜜を使用しているから、JAS 法(日本農林規格*)の表示基準不適合だ」という指摘が、農林水産省の機関である独立行政法人・農林水産消費技術センターからなされました。(* 正式名 農林物質の規格化および品質表示の適正化に関する法律)

『松田のマヨネーズ』は砂糖やブドウ糖などを使う代わりに蜂蜜を使っています。ところがマヨネーズの JAS 規格では、原材料として規定している糖類の中に蜂蜜が入っていません。そのことをとらえ、JAS 法に違反しているということです。JAS 法に違反すると「1 年以下の懲役または 1 億円以下の罰金」が科せられます。『松田のマヨネーズ』ではやむをえず、18 年間使い続けていた商品名を「松田のマヨネーズタイプ」に変更、名称を「半固体状ドレッシング」としました。そして、商品説明として、品質保持のため原材料は変えないことを製品袋の裏に明記、「だからこそ 100% 自然の究極のマヨネーズといわれるのです」と書きました。ところがこれに対して、「説明文においても“マヨネーズ”という言葉を使ってはならない」という通達がきました。

『松田のマヨネーズ』の松田優正さんは、この間、一貫して現品質の維持とマヨネーズの JAS 規格の見直しを訴えてきました。しかし、行政の側は、明確な論拠もなくこれらをことごとく退けています。そして 2003 年 1 月 22 日には農林水産省総合食料局品質課長名で「マヨネーズに蜂蜜を加えた場合のデータが十分ではないので JAS の規格見直しは時期尚早」という通知が届きました。

松田さんは、今の品質を守るため、原材料を JAS 規格にあわせて変えるのではなく、あくまで JAS 規格の見直しを農林水産省に求めていくお考えです。私たちは松田さんのこの決意を支持し、『松田のマヨネーズ』を守り支援していきたいと思います。また、こうした食品行政のあり方は良心的なものづくりを続けている中小企業家ばかりでなく、各地で動き出している農家・漁家グループによる小さな農水産物加工の芽を摘むことにもつながります。

小さな良心的な生産者の声が消されてしまうことのないよう、共に声を上げましょう

私たちは、以下の要請書に多くの賛同者を得て、連名のもと、農林水産大臣へ提出する予定です。是非とも、ご賛同をお願いいたします。この間の経過の詳細は、以下の HP に掲載しています。メール署名（署名簿との重複可）及びコメントの書き込みもお願いいたします。

2003 年 2 月 20 日

(呼びかけ人) 新井由己(ルポライター&カメラマン) 井上駿(技術士事務所・井上農研代表) 江原浩昭・広美(ガバレ農場) 大野和興(ジャーナリスト) 小田々豊(農業) 鈴木友治(極楽とんぼ農園) 手嶋恵太(自然食品店「輪屋」) 西沢江美子(ジャーナリスト) 橋本昌康(とりのさと農園) 横山豊子(自然食通信社) 伊藤晃・泰子(菜園「野の扉」)

(HP) <http://www.geocities.co.jp/NatureLand/4936/> (「松田のマヨネーズ」で検索できます)

(連絡先・HP 管理人) 〒369-1213 埼玉県大里郡寄居町鷹巣 378 伊藤 晃・泰子

tel/fax 048 - 582 - 3645 e-mail tobira@topaz.ocn.ne.jp

マヨネーズの JAS 規格見直しについての要請書

「松田のマヨネーズ」は、貴省の指示により昨年より「マヨネーズ」から「マヨネーズタイプ」へと名称変更を余儀なくされました。原材料の「糖類」に代えて「蜂蜜」を使っているのが JAS 法の表示違反にあたるというのがその理由です。

「松田のマヨネーズ」は、18 年前の発売以来一貫して、由来のはっきりした良質の原材料をもとに作られて来ましたが、それを明確に表示して来ましたが。ゆえに、「本物」を求める消費者に、広く愛されてきたのです。

この、18 年の長きにわたり人々に求められ愛されてきたという事実は、非常に重いものであり、「松田のマヨネーズ」の、疑義をさしはさむ余地のない高い品質と、誠実な姿勢の、証しであります。もしも、「松田のマヨネーズ」から「マヨネーズ」という言葉が奪われるのであれば、それは、これを支持してきた多くの消費者から「マヨネーズ」という言葉を奪うことになるのです。

「松田のマヨネーズ」のような良質な食品は、本来 JAS 規格が目指すべきものです。私たちは、マヨネーズの JAS 規格を見直して「松田マヨネーズ」を「マヨネーズ」と認めるべきだと考えます。

大臣殿。良心的な生産者とその生産者が作る本物の食べ物を愛する私たちは、JAS 規格を見直し、「松田のマヨネーズ」を「マヨネーズ」と認めることを要請します。

以上の要請に賛同される方はご署名をお願いいたします。

この署名用紙を他に流用する事は一切ございません。4月末日までに下記住所までご返送ください。

ご氏名	ご住所

「松田のマヨネーズはマヨネーズだ！の会」 <http://www.geocities.co.jp/NatureLand/4936/>

送付先・連絡先 〒369-1213 埼玉県大里郡寄居町鷹巣378 伊藤 晃・泰子

tel/fax 048-582-3645 e-mail tobira@topaz.ocn.ne.jp